

# 平成26年度事業実施報告

## 事業概要

平成26年度は前年度に引き続き、国によるシルバー人材センターの就業のあり方、適正な就業の徹底により偽装請負、混在就業、指揮命令など不適切と思われる公共・民間事業の請負契約の見直し等の巡回指導がありました。会員のみなさんの勤勉な就業により公共事業（1.4%増）・民間事業（3.8%増）全体で（2.5%増）と事業実績は5年ぶりに前年度を上回る結果となりました。

しかし、事業規模の大きい公共事業・民間事業所の委託事業が51件減少し、まだまだセンターを取り巻く就業環境は依然厳しい状況であり、就業機会の確保・拡大と新規事業開拓、会員の増強に努めました。また、地域貢献活動として地域ボランティアを実施するとともに独自のセンターフェア、作品展、市民講演会、入会相談会等の開催や商工まつり、リサイクルフェスタ、ボランティアまつりなどのイベントに積極的に参加し、シルバー人材センター事業の活動内容を広く市民に紹介をいたしました。安全就業については、全会員に就業中・経路途中の安全と事故防止の周知徹底に努めているところですが、傷害事故・賠償事故が10件発生してしまいました。

また、平成27年2月の国会におきまして、安倍首相は施政方針演説で「柔軟かつ多様な働き方」の中で、「高齢者の皆さんに、多様な就業機会を提供する。シルバー人材センターには、更にその機能を発揮してもらいます。」と演説され、国が、シルバー人材センターに大きな期待を寄せていることが分かりました。

## 1. 会員の状況

平成26年度末会員数は、1,700人で前年度（1,701人）より1人の減少となりました。入会者が187人、退会者が188人で、退会理由の主なものは、病気、就職、家庭の事情、死亡、転居、希望する仕事がないなどとなっております。

会員の男女別構成では、男性1,218人（71.6%）、女性482人（28.4%）で男性が8人減少、女性が7人増加しました。

年齢別構成では、70歳から74歳までが632人（37.2%）で最も多く、続いて75歳から79歳までが426人（25.1%）、次に65歳から69歳までが375人（22.1%）、65歳から79歳までの会員が1,433人（84.3%）と大半を占めております。

最高年齢は、男性が91歳、女性が88歳、平均年齢は、男性が73.3歳、女性は72.6歳、全体では73.1歳と年々若干ではありますが平均年齢が高くなり、就業会員の高齢化も進んでいます。

本年度中の就業会員は、1,461人（前年度1,477人）、就業率は、85.9%（前年度86.8%）となり、人数で16人、就業率で0.9ポイント減少いたしました。

平成26年度月別入退会状況と会員数

(人)

月別	入会者			退会者			会員数(月末)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
4月	19	8	27	7	2	9	1,238	481	1,719
5月	17	4	21	6	2	8	1,249	483	1,732
6月	11	4	15	11	6	17	1,249	481	1,730
7月	8	1	9	5	2	7	1,252	480	1,732
8月	9	3	12	5	2	7	1,256	481	1,737
9月	10	2	12	7	3	10	1,259	480	1,739
10月	11	4	15	23	2	25	1,247	482	1,729
11月	9	7	16	5	2	7	1,251	487	1,738
12月	9	1	10	5	4	9	1,255	484	1,739
1月	2	3	5	7	3	10	1,250	484	1,734
2月	11	10	21	23	5	28	1,238	489	1,727
3月	15	9	24	35	16	51	1,218	482	1,700
合計	131	56	187	139	49	188			

平成26年度年齢別入会者状況(入会時)

(人:歳)

	60歳未満	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	合計	平均年齢
男	0	13	65	39	10	4	131	69.2
女	0	10	22	16	7	1	56	68.8
計	0	23	87	55	17	5	187	69.1

## 2. 事業の実績

### (1) 事業実績

平成26年度の事業実績は、受託件数が12,201件（前年度11,926件）で前年度に比し、275件（2.3%）の増加となりました。

契約金額は、7億5,625万2,958円（前年度7億3,776万7,998円）で前年度より、1,848万4,960円（2.5%）の増加となりました。

契約金額の公民比率では、公共事業が4億253万6,538円で53.2%（前年度53.8%）、これに対して民間事業が3億5,371万6,420円で46.8%（前年度46.2%）となり、公共事業が民間事業を上回っております。

また、就業延人員では、19万739人（前年度19万39人）で、前年度より700人（0.4%）の増加となりました。

職群別就業では、管理群と軽作業群で就業延人員の86.9%（16万5,707人）を占め、契約金額でも73.8%と大部分を占めております。

### 平成26年度事業実績の前年比

会員数 (人)	就業実 人員	就業率 (%)	事業別	受託件数 (件)	契約金額(円)				公民比 (%)	
					配分金	材料費	事務費	合計		
			公共	1,083	359,415,674	14,103,697	29,017,167	402,536,538	53.2	
				(-3.1%)	(+1.78%)	(+4.33%)	(-3.0%)	(+1.4%)		
				1,118	353,475,642	13,518,958	29,925,713	396,920,313	53.8	
1,700	1,461	85.9%	民間	企	3,664	227,291,754	2,908,417	18,146,222	248,346,393	
					(+0.2%)	(+2.8%)	(-12.3%)	(+9.5%)	(+3.0%)	
-0.05%	-1.1%		業	家	3,656	221,100,263	3,316,940	16,559,471	240,976,674	
					(+4.2%)	(+4.1%)	(+13.9%)	(+11.5%)	(+6.0%)	
1,701	1,477	86.8%	庭	独	7,130	74,339,532	13,197,090	7,087,389	94,624,011	
					(0%)	(+1.6%)	(-7.0%)	(-40.0%)	(-4.1%)	
				自	22	4,407,777	398,862	440,361	5,247,000	
				小	11,118	309,178,842	18,307,080	26,230,498	353,716,420	46.8
				計	(+2.8%)	(+3.1%)	(+8.2%)	(+8.9%)	(+3.8%)	
					10,808	299,847,572	16,912,892	24,087,221	340,847,685	46.2
			合計	12,201	668,594,516	32,410,777	55,247,665	756,252,958		
				(+2.3%)	(+2.3%)	(+6.5%)	(+2.3%)	(+2.5%)		
				11,926	653,323,214	30,431,850	54,012,934	737,767,998		

※上段は平成26年度、下段は平成25年度の数值、カッコ内は前年対比の率

## (2) パッカー車の配備

平成27年3月からセンターワークブランチに植木剪定・除草作業等の残材を効率的に処理するため、パッカー車を配備し、ストックヤードと処理場への搬送に本格稼働することができました。

## 3. 就業機会の提供

会員の就業を確保するため、次の活動を実施しました。

- (1) ふれあいショップ「ゆうゆう」でお助け隊事業の受付、粗大ゴミシールと府中市家庭廃棄物指定収集袋の販売並びに洋服のリフォーム作業、書道教室を実施し、市民生活に直結した事業開拓に努めました。
- (2) 独自の第7回府中市シルバー人材センターフェアをけやき並木フォーリスで開催し、センターの活動内容と就業機会の拡大、会員拡大のPRに努めました。
- (3) センター事務所内に「最新の仕事情報」やセンターホームページに「仕事情報」を公開し、就業機会の拡大に努めました。
- (4) 府中市役所において、センター入会相談を4日実施しました。
- (5) 就業開拓員を配置し、市内企業を中心とした就業機会の開拓に努めました。
- (6) 府中市商工まつりに参加し、センターの活動内容の紹介や府中市をはじめ各行政機関に仕事の提供を依頼し、就業機会の開拓に努めました。
- (7) 就業基準に基づく就業面談により会員の交代を実施し、ワークシェアリングの推進を図りました。

## 4. 事業の普及・啓発活動

センターの広報活動は、事業内容を広く市民に周知し、会員の増加と就業機会の拡大を図るため、市広報、広報「ふれあい」、リーフレット等を活用しPRに努めました。

また、市内で開催されるイベント府中市商工まつり、職業能力開発センター府中校の技能祭などにも積極的に参加し、センターの啓発活動に努めました。

特に当センター独自の第7回府中市シルバー人材センターフェアをけやき並木フォーリスイベントホールで2日間開催し、センターの日頃の活動を広く市民に紹介いたしました。新入会員については、説明会と面接会を毎月開催し、センターの理念、就業の仕組み等の説明を行い、センターへの理解と就業への意欲の醸成に努めました。

区 分		説 明	実施回数
印刷物による広報	広報紙「ふれあい」の発行	センター広報紙「ふれあい」を発行し、全会員、市役所相談窓口、文化センター等公共施設、関係機関に配布し事業活動のPRに努めました。	4回
	府中市広報の活用	シルバー人材センターの仕事や仕組、事業内容の紹介、会員募集、市民対象講習会、講演会、ふれあい作品展、学習教室等のセンター事業を掲載しました	9回

チラシ、リーフレット等の配布	チラシ、リーフレット等を随時配布し、就業機会の拡大を図るためのPR活動に努めました。	随時
バス車内広告	京王バス10台の車内に広告を掲載し、PR活動に努めました。	1年
府中市老人クラブ連合会 会報広告	府中市老人クラブ連合会会報に広告を掲載し、PR活動に努めました。	6回
関係機関等への参加	自転車競技大会 府中市商工まつり 職業能力開発センター府中校技能祭 府中市郷土の森観光物産館(小物販売) 府中リサイクルフェスタ NPOボランティアまつり	1日 3日 1日 10日 1日 2日
会員等によるPR	お助け隊や技能職班(パソコン教室班・植木班・襖・障子班・除草班・刃物研ぎ班・小物作製班・書道教室班・出張着付け班、ふとん乾燥等)が自主的にPR活動や各種会合等あらゆる機会を利用し、会員の「ロコミ」によるPR活動を展開いたしました。	随時
入会相談	府中市役所において、出張入会相談会を実施しました。	4日
新入会員説明会	入会希望者を対象に毎月センターの説明会を開催し、会員拡大に努めました。	月1回
新入会員面接会	入会希望者を対象に理事等による個人面接を毎月実施し、センターの基本理念、就業の内容等を説明するとともに個人の希望に沿った就業等について聴取に努めました。	月1回
シルバー人材センター 広報一斉強調月間 (広域広報活動)	府中けやき並木において、ボランティア清掃を実施し、シルバー事業の積極的な宣伝とボランティア活動を実施しました。	1日

府中市 シルバー人材センター フェア	当センター独自の第7回府中市シルバー人材センターフェアをけやき並木フォーリスイベントホールにおいて、センターの活動内容や事業内容の紹介、一般市民を対象とした就業相談、植木剪定相談、ふすま張替相談、書道教室班の書道体験、パソコン教室班のカード作成、女性小物作製班の製品販売等、1,783人の市民が参加し体験する市民参加型のフェアを2日間開催しました。	2日
市民・会員による「ふれあい作品展」	市民及び会員の文化活動の一環として、府中グリーンプラザ展示ホールで第4回のふれあい作品展を開催しました。出展者62人(市民37人・会員25人)の絵画・書・写真、手作り作品等の力作が展示され、443人の市民が来場し、センターのPRをすることができました。	4日
5市合同 シルバー人材センター まつり	5市(府中市・町田市・稲城市・日野市・狛江市)合同のシルバー人材センターまつりをフォーリスイベントホールで開催し、センター女性会員の活動や女性小物作製班の製品販売等を2日間開催し、センターのPRをすることができました。	2日

## 5. 社会貢献活動(ボランティア活動)

社会貢献活動の一環として、次のとおり職群班の一般市民向け講習会や地域でのボランティア活動を実施しました。

区 分	活 動 内 容	参加者	実施回数
一般市民を対象とした講演・講習・研修会等	市民講習会 「シニアのためのみんなでワイワイ元気が出る簡単お掃除&お片づけ術」講座	18人	1回
合	計	18人	1回

区 分	活 動 内 容	参加者	実施回数
ボランティア活動 ・センター主催  ・地域活動	多摩川清掃	100人	1回
	けやき並木清掃	54人	1回
	紅葉丘地域(第2中学校周辺美化清掃)	61人	4回
	白糸台地域(第6中・9中学校・押立公園周辺美化清掃)	190人	7回
	中 央地域(けやき並木通り・府中街道美化清掃)	94人	12回
	是 政地域(是政文化センター周辺美化清掃)	42人	4回
	新 町地域(文化センター・地域体育館周辺美化清掃)	85人	6回
	片 町地域(片町公園周辺美化清掃)	127人	6回
	西 府地域(老人ホーム 花壇手入れ)	57人	4回
	武蔵台地域(武蔵台公園清掃・緑地の整備)	56人	9回
	住 吉地域(新田川緑道周辺美化清掃)	250人	12回
四 谷地域(第8中学校周辺美化清掃)	42人	2回	
	合 計	1,158人	68回

## 6. 研修・調査

会員の知識、技能等の向上と就業機会の拡大を図るため、全国シルバー人材センター事業協会、公益財団法人東京しごと財団並びに東京都第7ブロック・シルバー人材センター主催の研修や講習会等に積極的に参加しました。

区 分	研 修 内 容	参加者	実施回数
地域班長研修	・センターの現状と課題 ・地域班長の役割と地域活動	65人	1回
在会年数別会員 研修	センターの現状と課題、安全就業、接遇	216人	5回
適正就業巡回調査	適正就業巡回調査 (財団調査員による巡回調査)	4人	1回
安全就業巡回調査	安全就業巡回調査 (財団調査員による巡回調査)	5人	1回
各種研修・講習	新入会員説明会 (センター主催)	187人	12回
	監事研修 (財団主催)	2人	1回
	振り込め詐欺被害防止 ( " )	1人	1回
	安全管理委員研修 ( " )	2人	1回
	パソコンスタッフ研修 ( " )	7人	4回

	サービス分野リーダー養成講座 ( 〃 )	3人	2回
	刈払機作業従事者安全衛生講習 ( 〃 )	7人	1回
	包丁研ぎ ( 〃 )	2人	1回
	就業開拓実践セミナー ( 〃 )	2人	1回
	植木剪定講習 ( 〃 )	1人	5回
	事故の未然防止研修 (ブロック主催)	2人	1回
	ポリッシャーの使い方研修 ( 〃 )	3人	1回
	屋内清掃研修 (センター主催)	129人	6回
	家庭訪問保育研修 ( 〃 )	5人	1回
	自転車再生講習(リサイクル) ( 〃 )	1人	6回
	除草研修 ( 〃 )	13人	2回
合 計		657人	54回
他センターとの情報交換	東京しごと財団(連合)、東京都、第7ブロックシルバー人材センター等と情報交換を実施し、稲城市、相模原市シルバー人材センターを視察訪問いたしました。		

## 7. 安全就業の推進

安全就業については、安全委員会等で安全対策基本計画・安全対策実施計画・推進計画を策定し、安全就業と事故防止を全会員への周知徹底に努め、次の事業を行いました。

- (1) 広報「安全・健康ニュース」を年4回発行、会員の安全と健康に関する記事を掲載し、安全意識の喚起と安全就業の徹底に努めました。
- (2) 安全推進大会を2回(7月・1月)開催し、会員の交通安全、健康管理、安全就業の推進に努めました。
- (3) 安全委員会による就業現場の巡回指導を実施いたしました。又、東京しごと財団安全パトロール員による就業現場巡回安全指導を受け、安全就業の充実を図りました。
- (4) 自動車運転職群会員を対象に安全運転講習を開催し、安全運転の徹底と事故防止に努めました。
- (5) 7月、12月、1月を安全就業強調月間と定め、会員の事故防止に努めました。
- (6) 地域懇談会、職群懇談会、地域班長研修会、会員研修会等で安全の徹底と事故防止の呼び掛けを行いました。
- (7) 府中市主催による小学生・高齢者自転車競技大会に出場いたしました。
- (8) 就業途上に自転車を利用される会員に自転車総合保険の加入を促進し、自転車による事故に対応しました。保険加入者は275人でした。

本年度も安全委員会が127ヶ所の就業現場をパトロールし、事故の撲滅に努めましたが、次表のとおり傷害・賠償事故合わせて10件発生してしまいました。



前年度より傷害事故が2件、賠償事故が4件減少いたしました。賠償事故の原因は、不注意や作業マニュアルを無視した作業が起因するものが多く発生いたしました。

経路途中中の自転車による事故は、安全推進大会や地域懇談会の交通安全講習等により発生が1件と減少いたしました。

### 年度別 事故発生状況

年 度	発生件数	就業中の発生件数	就業場所への経路途中に発生した件数。( )は自転車によるもの	自転車が原因の割合%	賠償事故
平成22	11件	6件	5件 ( 3件)	27.3%	2件
23	12件	5件	7件 ( 5件)	41.7%	8件
24	10件	7件	3件 ( 3件)	30.0%	2件
25	9件	5件	4件 ( 1件)	11.1%	7件
26	7件	5件	2件 ( 1件)	14.3%	3件

### 安全研修・講習会開催状況

区 分	研 修 ・ 講 習 内 容	参加者	実施回数
自転車競技大会	自転車競技大会 (第3小学校)	12人	1回
連合安全推進大会	東京しごと財団安全推進大会	2人	1回
安全推進大会	「AED講習」・「認知症を知る」	95人	2回
安全講習会	普通救命講習	30人	1回
安全運転講習	自動車安全運転講習	11人	4回
合 計		150人	9回

### 8. 会議の開催状況

本年度も定時総会を始め各種会議を開催いたしました。毎月定例的に開催している理事会ではセンターの活動方針、事業計画、予算等を審議し、適正な執行に努めました。

又、運営調整会議、委員会、地域懇談会、地域班長会議などを開催し、それぞれの会議

において、熱心な意見交換が行われました。センター独自事業としては、お助け隊班、学習教室班、パソコン教室班、書道教室班、小物作製班、刃物研ぎ班、出張着付け班が運営の充実について意見交換を行いました。

(1) 定時総会

開催年月日	主な内容
<p>第65回 平成26年6月20日(木) 府中の森芸術劇場 (ふるさとホール)</p>	<p>第1号議案 総会議事運営規則の制定 (可決)</p> <p>報告 1 平成25年度事業実施報告 (了承)</p> <p>第2号議案 平成25年度決算の承認 監査報告 (認定)</p> <p>第3号議案 役員を選任の承認 (承認)</p> <p>報告 2 平成26年度事業計画 (了承)</p> <p>報告 3 平成26年度収支予算書 (了承)</p> <p>《出席状況》 当日会員数 1,739人 (正会員1,738人+特別会員1人) 出席会員数 1,238人 (出席326人、委任状912人) 定足数 870人</p>

(2) 理事会

開催年月日	主な内容
<p>第1回 平成26年4月16日(水)</p>	<p>(1)当センター参与への就任依頼について (2)会員の入退会について (3)役員候補者の選任及び監事の退任の承認について (4)常任委員会委員の補充について (5)事業実施報告について (6)各委員会報告について (7)就業問題委員会報告について (8)多摩川ボランティア清掃報告</p>

<p>第2回 平成26年5月14日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 平成25年度事業実施報告について  (3) 平成25年度決算の承認について  (4) 監査報告  (5) 役員・会員表彰について  (6) 第65回定時総会について  (7) 運営調整会議の構成員の変更について  (8) 事業実施報告について  (9) 各委員会報告について</p>
<p>第3回 平成26年6月18日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 第65回定時総会の役割業務等の打合せ事項について  (3) 全国シルバー人材センター事業協会総会出席者について  (4) 会長の提案による平成26年度事務事業の取組について  (5) PC職群Windows8 3台購入要望について  (6) 府中市老人クラブ連合会会報広告について  (7) 事業実施報告について  (8) 各委員会報告について</p>
<p>第4回 平成26年7月16日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 平成26年度収支補正予算書について  (3) 平成27年度以降の組織及び役員選考等に関する検討会議の設置（案）について  (4) 広報委員会委員の追加について  (5) 市長と役員との懇談会について  (6) PC職群Windows8 3台購入要望について  (7) 財団会長会議報告について  (8) 全国シルバー人材センター事業協会定時総会報告  (9) 事業実施報告について  (10) 各委員会報告について</p>
<p>第5回 平成26年8月20日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 総務委員会委員の補充について  (3) 個人情報保護保険の加入について  (4) 市長と役員との懇談会について  (5) 地域懇談会の実施方法及び日程について  (6) センター掲示板の見直しについて  (7) 適正就業巡回指導報告について  (8) 事業実施報告について  (9) 各委員会報告について</p>

<p>第6回 平成26年9月17日(水)</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 会長・副会長及び常務理事の職務執行状況報告について  (3) 第七ブロック会長会議報告について  (4) 交通安全市民のつどい・パレード報告について  (5) 事業実施報告について  (6) 各委員会報告について  ・シルバーフェア・ボランティア清掃  ・リサイクルフェスタ等の計画について</p>
<p>第7回 平成26年10月15日(水)</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 平成27年度府中市委託契約に係る契約単価について  (3) 事業実施報告について  (4) 財団シルバー人材センターフォーラムの出席者について  (5) 各委員会報告について  ・在会年数別会員研修・シルバーフェア  ・ボランティア清掃・リサイクルフェスタ等の計画について</p>
<p>第8回 平成26年11月19日(水)</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 平成27年度事業運営及び予算編成方針(案)について  (3) 役員・地域班長懇談会の実施(案)について  (4) 上半期監査報告  (5) 事業実施報告について  (6) 各委員会報告について  ・在会年数別会員研修・シルバーフェア  ・ボランティア清掃・リサイクルフェスタ等の実施について</p>
<p>第9回 平成26年12月17日(水)</p>	<p>(1) 会員の入退会について  (2) 平成27年度事業運営及び予算編成方針(案)について  (3) 会員に対する「兼職禁止」条件の見直しについて  (4) 平成27年度独自事業の課題と対応策案について  (5) 平成27年度民間事業所等契約単価及び事務費等について  (6) 第七ブロック会長会議報告  (7) 連合交付金監査報告  (8) 事業実施報告について  (9) 財団シルバー人材センターフォーラムの出席者について  (10) NPOボランティアまつり報告  (11) 各委員会報告について</p>

<p>第10回 平成27年1月21日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について (2) 平成27年度役員賠償責任保険の加入について (3) 平成27年度事業計画（案）について (4) 独自事業の見直し（案）について（三役案） (5) 平成26年度センター職員の給与改定について報告 (6) 役員・班長懇談会実施報告について (7) 事業実施報告について (8) 各委員会報告について</p>
<p>第11回 平成27年2月18日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について (2) 平成27年度事業計画（案）について (3) 平成27年度収支予算（案）について (4) 平成27年度第66回定時総会開催準備日程について (5) 平成27年度センター事業予定について (6) 会長・副会長及び常務理事の職務執行状況報告について (7) 就業問題委員会報告 (8) 事業実施報告について (9) 各部会報告について (10) センターパンフレットの全戸配布の変更について</p>
<p>第12回 平成27年3月18日（水）</p>	<p>(1) 会員の入退会について (2) 平成27年度収支予算（案）について (3) 平成27年度資金調達及び設備投資の見込みについて (4) 職員就業規則の一部改正について (5) 平成27年度嘱託・臨時職員の雇用について (6) グリーンプラザ「Wクリックパソコン教室」の使用日変更について (7) 就業基準の見直しについて (8) 就業問題委員会報告について (9) 事業実施報告について (10) 放課後子ども教室事業の受託について (11) 各委員会報告について</p>

(3) 臨時理事会

<p>第1回 平成26年6月20日（金）</p>	<p>(1) 業務執行理事（常務理事）の選任について (2) 新任監事紹介</p>
------------------------------	---

(4) その他の会議

連合会長会議	年 2回
連合事務局長会議	年 5回
運営調整会議	年 12回
委員会（総務、事業、広報、地域、安全）	年 63回
交通安全推進会議	年 2回

(5) 自主的会議

区 分	活 動 内 容	回 数		
役員・地域班長 合同会議	センター運営、定時総会開催への協力、地域班長の役割等、会員の状況を正しく把握し、事業の発展に係わる問題について情報交換及び連絡調整を図りました。	年 2回		
職群連絡会	職群別に連絡会議を開催し、独自のPR活動の展開や就業に係る問題について情報交換、連絡調整を図りました。	年 29回		
地域班会議	地域担当理事、地域班長、地域委員による地域班活動に係る問題について情報交換及び地域ボランティア企画等の連絡調整を図りました。	年 21回		
地域懇談会	文化センター単位に編成されている地域班を中心に担当理事、地域委員、班長、会員が相互にコミュニケーションを図り、センター運営の一助としました。 《開催状況》	11ヶ所  〔前年度〕 493人		
	西 府 地 域		平成26年 9月26日	43人
	四 谷 地 域		平成26年 9月28日	38人
	是 政 地 域		平成26年10月14日	17人
	住 吉 地 域		平成26年10月18日	48人
	片 町 地 域		平成26年10月19日	21人
	白 糸 台 地 域		平成26年10月25日	42人
	中 央 地 域		平成26年10月27日	85人
	紅 葉 丘 地 域		平成26年11月11日	46人
武 蔵 台 地 域	平成26年11月17日	31人		

	新 町 地 域	平成26年11月18日	75人
	四 谷 地 域	平成27年 2月15日	43人
	合 計		489人

その他、東京しごと財団、全国シルバー人材センター事業協会、市内関連団体、東京第7ブロックシルバー人材センターとの情報交換を密にし、メール便等により会員との意思の疎通を図り適正な運営に努めました。

## 9. 事務局体制

職員の資質向上を図るため積極的に研修に派遣し、育成に努めました。又、職員の事務分掌、業務分担を整備し、実務の遂行者として日常業務の円滑な執行に努めました。

業務上の連絡のために、毎朝、ミーティングを行い効率的な事務執行に努めました。